



小金井 2015.4/1 No.444 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！



特集：小金井桜のあれこれ



4月になり、すでに市内でも桜の花が見ごろを迎えているところもあると思います。

今回「小金井市の桜について」特集いたします。

まず、現在のお花見のスタイルが定着したのは、江戸時代からと言われています。当時は、「武士」を上位階級として、その下に「百姓」「町人」があるなど身分の上下が厳しく、住む場所や衣裳も階級によって規制がありましたがお花見だけは、身分や性別の区別なく参加できる大変開放感のある行事でした。また、花見は女性達のおしゃれ自慢の場でもあり、身分を問わず皆精一杯に着飾って出かけました。

「身分を超えて見初められるかもしれない」という期待を胸に、できる範囲で最高のファッションを身にまとった女性たちは、男性から注がれる視線を意識しながら桜の下を歩いたようです。

江戸の桜の名所は、一に飛鳥山、二が上野の山と、向島の大川端だと称され飛鳥山も向島も享保時代に、八代将軍徳川吉宗が命じて植樹させた桜だと言われています。

小金井桜のはじまり

徳川吉宗が、はげ上、武蔵野台地の新田開発のおり、川崎平右衛門に、玉川上水土手に植えることを命じたもので、その目的は、新田のにぎわい、土手の保護、上水の浄水化でした。その時期は1737年～1740年以降などいろいろ言われていますが、少なくとも1800年前後には、上野や王子、隅田川と並び名所になっていたと言われています。

シンボルとしての桜



市章は、市制施行を記念して、一般公募により定められたもので、小金井市が桜で有名なところから、桜の花びらを配し、小金井市の「小」の文字を図案化して、本市を表現しています。

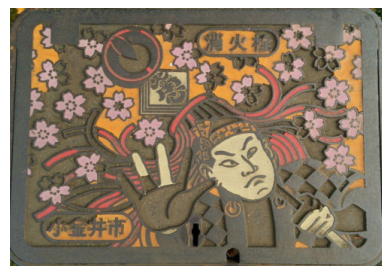
武蔵小金井駅と桜

私鉄甲武鉄道が新宿・立川間で開業したのは、明治22年（1889年）4月11日でした。この開業時期も名所として名高い「小金井桜」の見物客を当て込んだものでした。当時の駅は、中野・境（現：武蔵境）・国分寺（全5駅）のみで、境駅より徒歩にて玉川上水に行き国分寺駅にて帰途につくというのが定番でした。



甲武鉄道が、明治39年（1906年）に国有化され中央線となった後、増加する花見客のため大正13年（1924年）武蔵小金井臨時乗降場が設置され、花見シーズンのみ営業することとなり、その年の4月20日（日）は乗降客55,000人以上の大混雑となるほどでした。

この臨時駅が正式に停車場として開業したのは、大正15年（1926年）1月15日でした。このように武蔵小金井駅には、「小金井桜」を基にしてできた駅なので、乗降メロディーが「♪サクラ、サクラ」なのも当然と言えるでしょう。







消火栓のふたにも市章と桜がちりばめられています

今回、公民館東分館の市民講座で講師をしていただいています織壁哲夫さん、塚田善久さんにお話を伺い、ご協力いただきました。市内の桜の名所までご紹介できませんでしたが、市報こがねい3/1号1面で「春うらら市内の桜めぐり」として掲載しています。また、経済課発行の「小金井まちなか歩きガイドブック」でも「桜を愛でる」と題し、野川の桜などの記事を掲載しています。

参考にしていただきお気に入りのスポットを探しに、でかけてみませんか。



平成27年度 高齢者学級募集のお知らせ

| 小金井市公民館 シルバー大学 40人(多数抽選) | 公民館本町分館 生きがい広場 40人(多数抽選) | 公民館貫井南分館 けやき学級 40人(多数抽選) | 公民館東分館 くりのみ学級 40人(多数抽選) | 公民館緑分館 朴の樹学級 40人(多数抽選) | 公民館貫井北分館 はなみずき学級 30人(多数抽選) |
|--|--|--|---|---|---|
| と き | | | | | |
| 5月20日～ 10月28日 (全16回) 原則水曜日 午後1時30分～ 3時30分 | 5月11日～ 11月30日 (全20回) 原則月曜日 午前10時～正午 | 5月13日～ 11月11日 (全22回) 原則水曜日 午前10時～正午 | 5月15日～ 12月11日 (全20回) 原則金曜日 午前10時～正午 | 5月20日～ 12月9日 (全14回) 原則水曜日 午前10時～正午 | 5月12日～ 28年3月22日 (全18回予定) 原則第2・4 火曜日 午前10時～正午 |
| と ころ | | | | | |
| 公民館本館 ほか | 公民館本町分館 ほか | 公民館貫井南分館 ほか | 公民館東分館 ほか | 公民館緑分館 ほか | 公民館貫井北分館 ほか |
| 内 容 | | | | | |
| 政治経済・江戸 糸あやつり人形、 高齢者の食と健康、 小金井の歴史と文化財、 野外研修ほか | みんなで作って 食べよう、野外 研修、健康体操、 時事問題、 歌ほか  | 経済、自治問題、 音楽、文学、野 外研修 ほか  | 「いきいきと仲間 作り」落語、好感 を持たれる話し 方、江戸しぐさ を学ぼう、野 外研修ほか | 健康体操、ミニ コンサート、調 理、野外研修、 川柳、 脳トレ ほか  | 健康講座、音楽、 野外研修、文学 ほか  |
| 申 込 先 | | | | | |
| 〒184-0012 中町4-15-14 公民館本館 「シルバー大学」 | 〒184-0004 本町2-15-11 公民館本町分館 「生きがい広場」 | 〒184-0005 貫井南町4-3-23 公民館貫井南分館 「けやき学級」 | 〒184-0011 東町1-39-1 公民館東分館 「くりのみ学級」 | 〒184-0003 緑町3-3-23 公民館緑分館 「朴の樹学級」 | 〒184-0015 貫井北町1-11-12 公民館貫井北分館 「はなみずき学級」 |
| <p>対 象 市内在住の60歳以上の方</p> <p>締 切 4月22日(各館必着)</p> <p>参加費 無料(野外研修など一部実費負担あり)</p> <p>申 込 往復はがきに、住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号を明記して各公民館へ。</p> <p>※注意※</p> <p>同一の方の、重複した複数の講座応募はできません。(1通につき1人の申込みでお願いします。)</p> <p>7月後半・8月の期間及び当該曜日が祝日の場合、原則として講座を休講いたします。</p> <p>各講座の全日程などの詳細は各館にて掲示・配布のチラシ及び各主催公民館へお問い合わせください。</p> | | | | | |

昨年の講座風景



貫井南分館 けやき学級
野外研修 小金井消防署訪問
「心肺蘇生とAED、三角巾体験」



本町分館 生きがい広場
「みんなで作って食べよう」



東分館 くりのみ学級
「ハーブ石鹸を作ろう」

市民講座

「ニュース映画に見る昭和史パート2」 東分館

昭和の戦中期に起こった歴史的な事件と人物、あるいは社会状況にスポットをあて、その時代の映像（主にニュース映像）と重要史料を見ながら、その時代をふり返ります。今回は、太平洋戦争をメインに取り上げます。

とき・内容 下表のとおり

講師 山田 朗さん（明治大学文学部教授）

ところ 公民館東分館

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 50人（申込順） 参加費 無料

申込 4月17日から電話または直接、公民館東分館（☎042-384-4422）へ。

| 日時 | 内容 |
|---------|--------------------------------|
| 5/13(水) | 戦争1年目（1942年） ミッドウェーとガダルカナル |
| 5/20(水) | 戦争2年目（1943年） ソロモンでの大消耗戦 |
| 5/27(水) | 戦争3年目（1944年） サイパン・ビルマ・フィリピン |
| 6/3(水) | 「大東亜共栄圏」の虚像と実像 植民地と占領地 |
| 6/10(水) | 戦争4年目（1945年） 沖縄戦と本土決戦準備 |

いずれも、午前10時～正午（全5回）

市民講座 「文学から見えてくる東北

～恐怖・犠牲・そして笑い～」 東分館

美しい自然に囲まれ、また表現豊かな言語や多彩な郷土料理など、独特の文化を育んできた不思議な大地、東北。そんな東北にゆかりの作家の作品を通して、新たな東北の魅力を発見しましょう。

日程・内容 下表のとおり

とき 午後1時30分～午後3時30分

講師 石井正己さん（東京学芸大学教授）

会場 公民館東分館

定員 50人（申込順）

対象 市内在住・在勤・在学の方

参加費 無料

申込 4月16日、午前9時より電話または直接、公民館東分館（☎042-384-4422）へ。

| 日時 | 内容 |
|---------|----------------|
| 5/18(月) | 柳田国男の「遠野物語」 |
| 6/1(月) | 宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」 |
| 6/15(月) | 井上ひさしの「新釈遠野物語」 |



第32回 貫井南センターまつり

5月9日(土)～10日(日)

貫井南センターでは、各サークル等の活動発表など多彩な催しと、今年はオープニングでは東京学芸大学クラシックギタークラブの演奏を行います。

皆さんお誘い合わせのうえお越しください。

とき・内容 ▷9日(土) 午前10時～=オープニング（東京学芸大学クラシックギタークラブ演奏）▷9日(土) 午前10時～午後5時、10日(日) 午前10時～午後3時=作品展（書道・絵画等）▷9日(土)・10日(日) 午前10時～なくなり次第=江戸野菜等販売、クッキー販売等の模擬店▷9日(土) 午後1時～=公民館イベント「琉球三線とおどり」（特別イベント・下記のとおり）▷9日(土) 午後3時30分～6時=ダンス（各サークル紹介と発表会、自由参加のダンスパーティー）▷9日(土) 午後2時30分～3時30分=児童館の催し ▷9日(土)お茶席（ぬくい会茶道部）・一席（午前11時～）、二席（正午～）、三席（午後2時～）▷10日(日) 午前10時～午後3時=ステージ発表会（新舞踊・合唱、アコースティックギター弾き語り演奏等）

【特別イベント】

「琉球三線とおどり」

とき 5月9日(土) 午後1時から

ところ 公民館貫井南分館

出演 川崎仙子さん（琉球古典音楽安富流弦声会）他

入場 無料

定員 50人（申込順）

申込 4月16日から電話または直接、公民館貫井南分館へ。

問合せ 公民館貫井南分館（☎042-383-1168）



成人学校 「むかしみちを歩く

～奥多摩むかしみち」 東分館

「奥多摩むかしみち」旧青梅街道は江戸時代から甲州街道と呼ばれていました。今回は、橋詰付近から奥多摩湖まで、その道の面影と歴史に触れながら歩きます。

とき 5月8日(金) 午前8時～午後5時（予定）

出発・解散場所 公民館東分館

講師 吉羽秀夫さん（奥多摩むかしみち案内人）

対象 市内在住・在勤・在学で山道を3時間程度歩ける方

定員 20人（多数抽選）

参加費 無料

申込 4月22日(必着)までに往復はがきに氏名(ふりがな)・住所・年齢・電話番号を明記し、公民館東分館「むかしみち係」(小金井市東町1-39-1 ☎042-384-4422)へ。

◆ 4月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

| 小金井市公民館 | 公民館本町分館 | 公民館貫井南分館 | 公民館東分館 | 公民館緑分館 | 公民館貫井北分館 |
|--|--|---|--|---|---|
| 中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226 | 本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227 | 貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228 | 東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229 | 緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300 | 貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402 |
| ☆高齢者学級 「シルバー大学」 市報 4月15日号に詳細 | ☆高齢者学級 「生きがい広場」 ☆第34回本町分館まつり「将棋大会」 市報 4月15日号に詳細 | ☆高齢者学級 「けやき学級」 市報 4月15日号に詳細 | ☆高齢者学級 「<りのみ学級」 ☆成人学校 「むかしみちを歩く」 ☆市民講座 「ニュース映画に見る昭和史 パート2」 「文学から見えてくる東北」 市報 4月15日号に詳細 | ☆高齢者学級 「木の樹学級」 市報 4月15日号に詳細 | ☆高齢者学級 「はなみずき学級」 ☆成人学校 「四季の花づくり」 市報 4月15日号に詳細 |

私の散歩道

散歩には路地裏がいい。車が通らず歩きやすいというのが大きな理由だが、それだけではない。暮らしの温もりが感じられるからだ。

昔、路地裏は子供の遊び場だった。カン蹴り、メンコ、ビー玉、釘立て、コマ回し……数え上げればきりがなし。溝のミジンコは金魚の餌になった。引き売りが来て母親たちが話に花を咲かせる場でもあった。日常生活は歩ける範囲で事足りた。近所の商店街で買い物をして、年季の入った喫茶店で休んだ。いつも路地裏を歩いて暮らしていた。

時は流れ、路地裏が消えた。高層ビルが建って寒々とした道が増えた。近所の商店が減った。分業が進み仕事が少ない世の中になった。幸い小金井には散歩向きの遊歩道や公園が多い。気持ちよく歩いてありがたい。でも、わざわざ行く場所のような気がしてどこか寂しい。

私が好きな喫茶店は中央線沿線沿いの小さな商店街にある。行くといろんな人に出会えるのが嬉しい。店主の人柄がいい。コーヒーがおいしい。通りの幅も歩くには丁度いい。駅からも近い。それなのに人通りが少ない。もったいない気がする。こんな通りが賑わうような街に生まれ変わってほしいと思う。

路地裏を歩いて行く。近所の商店街で日々の買い物を。喫茶店で一息入れる。地域の資源を使う。身の丈に合った暮らしをする。暮らしの道。それが私の散歩道になる日を夢見ている。
(本町在住N.S)



子育て・子育て支援 講座報告 「イライラの消しゴム」 貫井北分館

不安やイライラした気持ちと上手につきあう方法を3日間の講座で学習しました。

まず1日目は、自分の怒りを客観的にとらえるための作業をしました。「最近怒ったこと」を思い出して、温度にたとえました。すると、「怒ってもいい、しかし、この場合は怒り過ぎ」という場面が明らかになり、怒りの差別化ができるようになったようです。

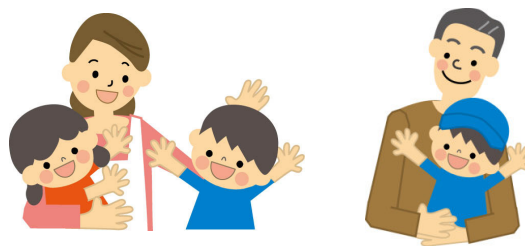
2日目は、自分の気持ちを相手に伝える方法を練習しました。ロールプレイングでは、お母さん役と家族役のやり取りによって、日常生活のイライラしがちな場面が再現されました。お互いの気持ちを言語化するうちに、相手の気持ちを考える姿勢ができていきました。他者に気づくということ、自分に気づくということでもあります。「幸せ日記」をつけたら、家族を想うお母さんの姿が浮かび上がりました。



- ・ご飯を「美味しい！」って食べてくれた！（幸せ！）
- ・夫が家事を手伝って、協力してくれた！（幸せ！）
- ・良い天気だからお散歩した。気持ち良い！（幸せ！）

3日目は、心と身体の関連性を理学的な観点から学びました。唾液アミラーゼを測定したストレスチェックでは、安定した数値が現れました。疲れを感じている割にストレス値が少ないということは、疲れが心理的な要因に基づくものであることが考えられます。また、睡眠、規則正しい生活、日光、身体的を動かすことによる脳内物質の分泌を知ることで、普通の生活の大切さを理解できたようでした。

こうした技術と知識は、子育ての場面だけではなく、社会生活や仕事でも使えます。心の問題はつかみどころのないものですが、まず自分が取り組めることを知ること、気持ちが楽になったという感想が寄せられました。



古紙配合再生紙を使用しています。